

# ゆずの木

第4号

社会福祉法人  
宮城県障がい者福祉協会  
啓生園

〒983-0836  
仙台市宮城野区幸町四丁目6-2  
TEL 022-385-7860  
FAX 022-291-1783

書：小野寺 恵美子 氏



## 和顔愛語

施設長 吉川 真一

新型コロナウイルスの捉え方が変わり、世の中が賑わいを戻して半年が過ぎました。

私たちも施設利用者と共に、市内の情報に敏感となり、一緒にショッピングやカルチャースクール、またはスポーツ大会に参加し、共に喜怒哀楽を楽しんでいます。

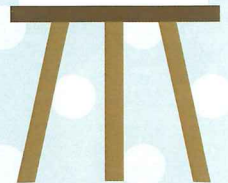
施設行事も、4年ぶりに「啓生園まつり2023！」を開催し、地域の芸能団体の協力を得て、久しぶりにご家族と交流を深めることができました。

世界各国の惨劇が報道される中で、つくづく平和・自由の大切さを痛感します。

私たち職員は、常に穏やかな表情で気持ちのこもった言葉を大切にし、皆さんの笑顔と平和な日々がずっと続くように、努めていきます。



芸術鑑賞会







2023年 啓生園 忘年会



# 啓生園忘年会

生活支援員 高橋 俊

今年度も無事に忘年会を開くことができました。新型コロナウイルスの影響が未だ残る中、施設行事として少しでも利用者さんに楽しんでいただけたらという企画しました。午後から二部構成で行い、一部ではチョコレートフォンデュを用意。見てよし、やってよし、味わってよしと皆様楽しまれた様子でした。また福祉センターの佐々木所長を指揮者に招き、クワイアチャイムのミニ演奏会を行いました。利用者さんも参加され、クリスマスソングの雰囲気を引き立てくれる素敵な音色でした。二部のお寿司会食では、青木課長にとびっきりのネタを用意していただき、とても豪華な食事となりました。おかわり分もなくなるほど大盛況でした。その後のビンゴ大会も大いに盛り上がり、プレゼントに利用者さんも喜ばれた様子でした。最後に、準備段階で手伝っていただいた実行委員、当日の行事に携わった職員の方々、ご協力ありがとうございました。

# 吉川 Farmer's Diary



収穫した野菜は給食で提供され、好評を博しました。来年はどんな野菜が収穫できるのか…。ご期待ください！

**今年育てた野菜**

- 大根
- ゆず
- ゴーヤ
- ナス
- きゅうり
- たまねぎ
- かぼちゃ
- ネギ
- トマト



## 給食だより

栄養士 山崎 光子

施設行事の締めくくり、啓生園忘年会。コンセプトは、大人のクリスマス。1部 チョコレートフォンデュ（苺、キウイ、バナナ、バームクーヘン）。2部はスペシャル弁当の二部制。関係機関のご協力もあり、塩釜港直送高級食材（大トロ、中トロ、赤身）、ウニの握り寿司が提供実現となりました。脂ののったマグロは口の中に広がる上品な味わいでとるけるようでした。ウニの甘さも抜群。堪能できました。計8貫の握りにオードブル、デザート、汁物。握りのお替りは完売。パフォーマンスで握りの実演が目の前で展開され、此方も大好評。中庭で収穫した柚子を使用した2品、柚子大根、デザー トトッピング柚子シヤムのほろ苦さは大人の味。忘年会は究極のマグロを皆で食べられる喜び、美味しいものは人を笑顔に、心身共に満たして幸福にしてくれるものと感じ入りました。



## 保健室だより

看護師 松木 京子

介護職員が服薬介助を行うためには薬が1包化されていなければ法律違反になってしまう…ということをご存じでしょうか？1包化とは複数の薬が1つに包装されている状態です。1錠しか薬がない場合でも介護職員が服薬介助するためには1包化が必要です。現在啓生園では可能な限り1包化に努めています。しかし、湿気に弱い薬や臨時処方薬等はそのままで対応しています。施設に分包機械もありません。多くの施設が抱える問題だと思います。いわゆるグレーゾーン対応です。入所、通所にシヨートご利用の皆様、頭のどこかに施設利用時は1包化したほうが良いということを残していただければ幸いです。



(参考) 医師法第17条・歯科医師法第17条及び保健師助産師看護師法第31条)

新規通所利用者様紹介

令和5年11月1日より



伊藤 秀治様

これからどうぞよろしくお願います。

勤続10年表彰

丸子 晃 副主任

鹿野 由美子 支援員

これから益々のご活躍を祈念いたします。



日中活動・外出支援



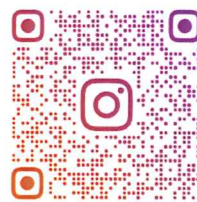
地域貢献委員会

生活支援員 遠藤 由貴

今年度から初めて活動を開始した地域貢献委員会では、少しでも地域との関わりを増やしていく為の活動をしてきました。

10月には啓生園自治会役員の利用者の方たちと施設周辺のゴミ拾いを行いました。約1時間のゴミ拾いでしたが、それでもゴミ袋2袋分以上になりました。普段よく歩く道ですが、意識して見ると見ないのでは、全く違うことが実感できました。来年度以降も活動頻度を増やして、継続していきたいと思っております。

新たな試みとして、啓生園のインスタグラムを開設しました。週に1〜3回程度を目安に、施設の情報幅広く発信しています。施設内での活動や様子をご家族始め、多くの方々に知っていただくきっかけになれば良いなと思っております。



KEISEIENN

編集後記

今年の冬は特に寒暖差が激しい...! 負けずに生きていきたいものです。

久保沢 修二

「ゆずの木」第4号の発行にあたり、原稿を寄せて下さった皆様に御礼申し上げます。

佐藤 真理

1年の過ぎる早さに驚きを隠せない日々です。来年度もよろしくお願います。

遠藤 由貴

啓生発第 19 号  
令和 6 年 3 月 1 日

関係各位

障害者支援施設 啓生園  
施設長 吉川 真一  
<公印略>

機関紙「ゆずの木 第4号」掲載内容の誤りと訂正文のご案内

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
日頃より、当施設の運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、今回発行いたしました「ゆずの木 第4号」におきまして、掲載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

敬具

記

「ゆずの木 第4号」P6  
誤  
新規通所利用者様紹介

正  
新規入所利用者様紹介

以上